

安中市水道事業ビジョン・経営戦略 パブリックコメントへの回答

番号	ご意見	ご回答案
1	水道事業は、公共中の公共の事業。 市民の命に直結する問題なので、海外の企業に、任せてはいけない。 そもそも企業である限り利潤追求が目的の はず。 安心安全な水を管理維持する事と、利潤目的の会社に任せる事とは、全く相いれない。 もう海外で試されて、失敗をしているのだから、経験から学んで欲しい。 安中市の場合、そもそも、水源に重大な問題があると医師や関係者から指摘されている。 それが議会で問題にならないのも、不思議だ。 水源・水質がどうなっているのか、専門家と市民の有志で委員会を立ち上げて欲しい。	このたびは、安中市水道事業に関する貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。市民の皆様が水道事業に対して深い関心をお寄せいただいていることに、心より感謝申し上げます。 安中市では、水道事業が市民の命と暮らしを支える極めて重要な公共事業であるとの認識のもと、安定した水道サービスの提供に全力を尽くしております。施設の維持管理や水質検査などの一部については、サービス水準の維持・向上を目的として民間事業者の力を活用しております。一方で、民営化につきましては、市民の皆様に安心していただける水道サービスの提供を最優先とする方針に基づき、その予定はございません。 また、水源および水質の管理に関しては、安中市としても重要な課題であると認識しております。これまでも適切な管理と監視の強化を行いながら、安全な水の供給に努めてまいりました。水源・水質に関する委員会については、今後、必要性や実現可能性を含め、慎重に検討してまいります。 今後も市民の皆様のご意見を大切にし、信頼される水道事業の運営に努めてまいります。引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
2	なぜ民営化が必要なのか理解できません。今まで様々な民営化が取り組まれておりましたが日本全国での取り組みでは本当に「民」のためになっているのか疑問です。各企業のためのように思えてなりません。結果として料金の値上げがおこなわれてきております。 昨年水不足により、水質が悪くなりましたが市の職員の皆様の努力で数日で元に戻ったことがあり感謝しておりますことを踏ま	このたびは、安中市水道事業に関する貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。市民の皆様からのご意見は、私たちにとって大変重要であり、今後の事業運営の参考にさせていただきます。 安中市では、水道事業が市民の皆様の暮らしを支える重要な公共サービスであるとの認識のもと、今後も公営での事業運営を行ってまいります。民営化については、その予

番号	ご意見	ご回答案
	えて現状のままでよいと思っており、民営化に反対です。	定はございません。 また、官民連携の形態によっては、市民生活等への影響について様々なご意見があることも承知しております。安中市では、公共性を重視し、市民の皆様に信頼される持続可能な水道事業の運営に努めてまいります。 昨年、夏期の高温と少雨の期間が重なり、河川水質に影響が生じたことにより、水質について市民の皆様にご心配ご迷惑をおかけし大変申し訳なく思っております。職員一同、さらに良質なサービスを提供できるよう努めてまいります。 市民の皆様と共に、より良い水道事業を築いていくため努力してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
3	「北陸新幹線秋間隧道湧水及び一ノ瀬隧道湧水の各湧水量が減少傾向にある」といった記述について。 隧道掘削後、すでに 10 年以上経過しており、(以下、隧道;トンネル)一般的にはトンネル湧水量(恒常湧水量)は年間の季節変動はあるものの比較的安定しているトンネルが多い。トンネル湧水の季節変動量が大きいトンネルは、“被り”(トンネルから地表までの厚さ)が薄いトンネルや透水性の高い地山のトンネルなどであって、長期間の無降雨の影響を受けて一時的に季節変動として湧水が減少する可能性がある。いずれにしても、経年的にトンネル湧水量の減少がみられていることから、トンネル開通後の湧水量と降水量の関係を分析して、今後の湧水量の予測をする必要があると思う。	このたびは、安中市水道事業に関する貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。市民の皆様が水道事業に対して深い関心をお寄せいただいていることに、心より感謝申し上げます。 湧水量の減少傾向については、今後の人口減少に伴う水需要量の減少が見込まれることや、湧水量と降水量の関係性にも留意しながら、引き続き各湧水量の動向を注視し、将来的な水資源の適切な管理と持続可能な利用に努めてまいります。
	「水道事業における官民連携手法の概要」(令和 6 年 3 月厚生労働省)の図表掲載につ	安中市では、施設の維持管理や水質検査などについて、サービス水準の維持・向上を目的として民間事業者の力を活用しておりま

番号	ご意見	ご回答案
	いて。 この図表をみると、あたかも水道事業の最終目標としてコンセッション～完全民営化方式をめざしているような表記である。しかし、他国を見ると、例えば 1980 年代以降、民営化路線を歩んできた欧州の水道事業は杜撰な管理や財務の問題にスポットが当たり、再び水道事業を公営化に戻そうという動きがある。こうした図表の掲載は慎重であるべきと思う。	す。一方で、民営化につきましては、市民の皆様に安心していただける水道サービスの提供を最優先とする方針に基づき、その予定はございません。このような観点から、安中市が対象と考えられる官民連携の範囲を p.58 の図中に示すこととします。
	○広域化 出来れば、群馬県水道広域化推進プランについて、このプランを推進した場合、安中市の水道事業は具体的にどのようなものかを記述していただきたい。 ○民間資金・ノウハウ等の活用(PPP/PFI の導入など) 費用対効果で果たして民間事業者の活用が有効なのか疑わしい。	○広域化について 群馬県水道広域化推進プランの目的は、人口減少や施設の老朽化、水需要の減少といった課題に対応し、安定的かつ効率的な水道事業運営を実現するなど水道の基盤強化を図ることにあります。群馬県ではプランに基づき削減効果が期待できる薬品の共同購入や施設管理点検の共同化などのソフト連携から推進することとしています。具体的な連携については、安中市として削減効果が大きいソフト連携について、群馬県など関係機関と協議を進めながら、適切に対応してまいります。 ○民間資金・ノウハウ等の活用(PPP/PFI の導入など)について ご指摘をいただきました民間事業者の活用に関する費用対効果の有効性について、安中市では水道事業の技術職員数が減少している現状を踏まえ、施設の維持管理や水質検査などにおいて、サービス水準の維持・向上を目的として民間事業者の力を適切に活用しております。これにより、専門性の高い業務や効率的な運営を実現する一方で、コスト面での効果も十分に考慮しながら運用しております。 また、PPP/PFI の導入については、一般的に、長期的な契約やリスク分担、透明性といった側面での慎重な運用が求められるものです。安中市では、公共性を重視し、市民の皆様信頼される持続可能な水道事業の運営に努めてまいります。

番号	ご意見	ご回答案
4	水道料金 口径 13mm 管の基本料金に空き家の場合の特例を設けていただきたい。 実家が空き家になっているが時々掃除をするので水道は必要なため契約は解除できない。 基本料金 2,200 円（税込み、2 ヶ月分）では、年間の水道料金は、13,200 円になる。年間で 1 立方メートルも使わないのに 13,200 円は不当に高すぎるので、救済措置を考えていただきたい。 例えば、空き家の場合は基本料金を現行の 1/2 から 1/4 くらいに引き下げる。 空き家の場合の救済措置無しでは、水道料金の値上げは絶対に認められません。 ご検討をお願いいたします。 電気代の場合は、契約容量を 10A まで下げれば月の基本料金は 330 円くらいになります。	このたびは、安中市水道事業に関する貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。市民の皆様が水道事業に対して深い関心をお寄せいただいていることに、心より感謝申し上げます。 水道事業では、水の使用量にかかわらず、安全・安定的に水をお届けするため、常に施設の維持管理や更新、緊急時の対応などを行っております。このため、基本料金は水を使用していない期間でも必要な費用の一部としてご負担をお願いしているものです。 ご提案いただいた、空き家に対する特例につきましては、制度運用の公平性などの課題があることから、現時点では導入は困難と考えております。 なお、水道を利用されない期間がある場合、届出によりまして一時的な使用休止が可能です。休止期間によって基本料金は減額になりますので、ご活用いただきますようお願い申し上げます。
	水道事業における官民連携手法の概要の図に完全民営化まで示されているが、実施した自治体や諸外国では問題が起きている。 ・民間企業が水道サービスを提供する場合、収益性を確保するために料金を引き上げる。 ・サービス品質の低下が懸念されます。経営側がコスト削減を優先し、メンテナンスや設備の更新、顧客サービスが不十分になる。水質が低下する。 等の問題で、民営化しても公営に戻してるケースが多いと言われている。 何より心配なのは水質の低下である。 58 頁に 「水質や環境に係る事項については安中市は民営化は考えていない」と追記していただきたい。	安中市では、水道事業が市民の皆様の暮らしを支える極めて重要なライフラインであり、公共の責任のもとで安定的に運営されるべきとの考えから、水質や環境に係る事項に限らず、水道事業全体について民営化の予定はございません。 このような観点から、安中市が対象と考えられる官民連携の範囲を p.58 の図中に示すこととします。

番号	ご意見	ご回答案
	水質及び水質管理の項目に、良好な水質を維持する施策を盛り込んでいただきたい。 安中市には、安中市水道水源保護条例があるが、最近の環境悪化を見ていると心配になります。 具体例として、表流水を取水している碓氷川の上流の霧積川の近傍に産業廃棄物を埋め立てる造成が行われたり森林を伐採して大規模な太陽光施設が出来たりしています。ゴルフ場の除草剤も心配です。 県外から持ち込まれる産業廃棄物には何が含まれているか判りません。太陽光パネルには、鉛、カドミウム、ヒ素、セレンなどの有害物質が含まれているそうです。風水害で太陽光パネルが川に流されたりしないように川の近くでは太陽光施設の設置は禁止する等の条例の強化が必要だと思います。 将来にわたり水源の水質を維持するための環境施策を打ち出して明記していただきたいと思います。	水道水の安全・安心を確保するうえで、水源地域の環境保全は非常に重要な課題であると認識しております。 安中市には、水源保全のための「安中市水道水源保護条例」が制定されており、これに基づき、水質保全に努めております。太陽光施設の設置に関しては関係部局と連携しながら適切に対応してまいります。 水道事業としては、浄水場における適切な浄水処理の実施に加え、原水・浄水・給水栓水について定期的な水質検査を行い、良質な水道水の安全確保に日々努めております。このような日常的な管理により、万が一水源周辺で環境変化が生じた場合でも、すぐに対応できる体制を整えております。 今後も市民の皆様のご意見を大切にし、信頼される水道事業の運営に努めてまいります。引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。